

みずぼうそう (水痘)

Q1.どんな病気？

水痘ウイルスにより全身に水疱があらわれる感染力の強い病気です。感染してから2～3週間で発病し、7日～10日くらいで治ります。

Q2.主な症状は？

虫刺され様の発疹が胸・腹・顔からはじまり、徐々に他の部分に広がっていきます。約一日で発疹は小さな水疱になり、2～3日のうちに黒いかさぶたになります。ほとんどの場合発熱をとまいません。また、口の中などにも水疱ができることがあり、その場合は痛みがかなりあります。

まれに肺炎などの合併症をおこすこともあります。咳がひどく高熱が続くときは早めに受診してください。また、水疱が異常に大きくなったり、全身に一面にできたりして、症状が特に重いときは入院が必要になります。

Q3.治療、手当ては？

最近になり、水痘ウイルスに効果のある飲み薬ができました。発症してからなるべく早く飲みはじめれば、水疱の数・大きさ・治るまでの期間が軽くなります。発疹の痒みをおさえたり、化膿を防ぐために塗り薬もよく使います。この塗り薬は発疹のうえに置くようにしてつけます。塗り薬は目に入るとしみますので注意してください。

肌着は毎日着替えて皮膚を清潔に保ち、発疹が細菌感染を起こさないようにしましょう。

特に食事制限はありませんが、熱があるときは食欲に応じてさっぱりしたものなどを、また口の中に水疱ができているときは刺激の少ないものを与えましょう。

水疱がすべて黒くかさぶたになるまでは、お風呂は控えてください。そのあともかさぶたをこすらないようにしましょう。赤ちゃんで、時々ぬるま湯でおしりを洗うくらいはさしつかえありません。

Q4.予防方法

感染力は強く、発病2～3日前から水疱に水を持っている間は他の人にうつります。学校保健で指定された伝染病なので、すべての水疱がかさぶたになるまでは、学校や保育園・幼稚園は休ませなくてははいけません。

予防するには水痘生ワクチンを接種します。1歳以上なら大人まで接種できます。また、患者と接触したときも、48時間以内ならワクチンを接種すればかなりの確率で発病を防ぐことができます。